

来ぶらり

2010 秋
No.86

Q. お気に入りの過ごし方は？



A.
朝から行って
ゆっくり文献
を探す！

HOT
TOPICS

私のお気に入りの場所・過ごし方
LOVE♥図書館

HOT
TOPICS

学生さんに聞きました！

私のお気に入りの
場所・過ごし方

日頃大学図書館を利用している学生さんや院生さんたちに、お気に入りの場所や過ごし方、大学図書館の好きなのところを聞いてみました！

皆さんの「お気に入り」は出てくるでしょうか？

まだ図書館で自分の「お気に入り」が見つかっていないという方！今回登場していただいた皆さんの意見を参考に、「お気に入り」を探してみてくださいはいかがでしょうか。

文学部日本語日本文学科
齋藤 由佳

2009年
ミス学習院



ミス学習院
に
聞きました！

Q1. お気に入りの過
ごし方は？

A. 朝から行ってゆっくり
文献を探す！

たっぷり時間を使えるし、お
まり混んでいないので落
ちついて本を読めます。

Q2. お気に入りの場
所は？

A. 1階入って左奥の窓側の席

明るく落ち着いていて、ゆっ
くり本を読むのにぴった
りなので。



文学部哲学科
曲木 里紗

Q. お気に入りの場所は？

A. 4階、休憩室。
試験前や発表の前などに友達と勉強会をするとき、休憩の場所として使えるからです。ここでは飲み物が売られていて、持ってきたお弁当も食べることができるので便利です。



自然科学研究科物理学専攻
井出 雄一郎

Q. お気に入りの過ごし方は？

A. 気分転換に洋書を読む。
時間が空いた時や勉強に疲れたなあという時は、3Fの洋書棚近くの机に座って、Harry Potter の原書を読みます。洋画を字幕なしで見ている時のような、訳本とはまた違った味わいを感じます。



自然科学研究科数学専攻
相場 大佑

Q. お気に入りの場所は？

A. 閲覧室。
閲覧室では、図書館の雑誌や、貴重な本などを自由に閲覧することができ、また、授業の予習、復習などの自習スペースとしても利用することができるため。

CONTENTS

1 図書館のキャラって？



こんにちは！僕、GLIM (グリム) くん。学習院大学図書館のキャラクターを務めて 15 年くらいになるよ。野生のキタキツネなんだ。最近では、図書館のホームページにも登場してるよ！実は、他の図書館にも色んなキャラクターがいるって知ってたかな？今日は、他の図書館で活躍する、僕のお友達を紹介しちゃおう！



こちら、筑波大学附属図書館の「ちゅーりっぷさん」と「かまじゃんぱー」です。

遠い星からやってきた、図書館の使い方をわかりやすく教えてくれるお姉さん「ちゅーりっぷさん」と、学生になったのを機に修行していた筑波山から下山してきた「かまじゃんぱー」。インバウトのあるルックスはもちろん、お2人(?)の絶妙な掛け合いも見どころです。現在はずばりロボトリの顔としても活躍中。かまじゃんぱーは図書館プロモーションビデオにも出演を果たし、活動の場を広げている模様。詳細なプロフィールにも注目！

*筑波大学附属図書館ホームページ
<http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/>

いいなあ、いつも2人で楽しそうだね。僕も一緒に働く仲間が欲しいな。ちゃんとプロフィールがあるのうらやましいな...



こちらはお茶の水女子大学附属図書館の「おかめちゃん」です。

器量良しのオカメインコ、「おかめちゃん」。お茶の水女子大学教育・研究成果コレクション Tea Potをはじめ、図書館の様々なところで活躍中！お茶の水女子大学 LISA (Library Student Assistant) のブログにもしばしば登場していて、学生さんたちから愛されている様子がうかがえます。さらに、学内 PC のログイン画面やマウスパッドでもおかめちゃんの姿が見られるそう。2009 年には、学園祭とコラボして特別バージョンのおかめちゃんも登場したとか。

*お茶の水女子大学附属図書館ホームページ
<http://www.lib.ocha.ac.jp/>

学園祭とコラボしたなんてすごい！本当にみんなから愛されるんだね。僕にもオファー来ないかなあ。

今回紹介したのはほんの一部で、まだまだたくさんのお友達がいます。図書館に行ったら、キャラクターをチェックしてみるのも楽しそうだね。僕のこと、ぜひ探してみてくださいね！

*大学図書館ホームページ (「投書箱」の回答に僕の出生の秘密が載ってるよ。よかったら見てね。)
<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/glim/>

(大学図書館 米田有里)

CONTENTS
2

映画のなかの図書館

スクリーンに登場する図書館・図書館員はどんな描き方をされているでしょう？図書館(員)との関わりが印象深い映画を邦画・洋画それぞれピックアップしました。

1 『Love Letter』 岩井俊二監督 1995 年

(小説：岩井俊二「ラブレター」大学図・1F 開架 Kadokawa/い 42/1)

「拝啓、藤井樹様。お元気ですか？私は元気です。」

雪山の遭難事故で婚約者を亡くした女性(博子)と、その婚約者と同名の女性(樹)。二人の手紙のやりとりが、美しい映像に乗せて繊細に綴られていく。

神戸に住む博子は、三回忌を機に想いをたち切ろうと、彼が中学時代に住んでいた小樽の住所に宛てて手紙を送る。そこへ、来るはずのない返事が届く。

差出人の藤井樹は、小樽で司書として図書館に勤めている。博子の手紙にいざなわれ、中学時代の同級生である少年・樹を思い出し、回想する樹。同名であることを理由に揃って図書委員に選ばれた二人の樹、図書室でのやりとり、少年・樹の図書カードへのいたずら、彼が転校する前に彼女に託した一冊の本、やがて月日が流れ、届けられるメッセージ——。

新しいコミュニケーションツールが次々と登場し、伝える手段も多様化する現在。相手への想いをめぐらせて選ぶもの、机に向かい言葉を紡いでいく時間…手紙ならではの味わいは、今なお何ものにも代えがたい。

キラキラとあたたかく、やわらかく、切ないほどに美しい雪景色。シンプルな言葉が銀世界に沁みわたる。本作品はぜひ、映像で愉しんでいただきたい。

(アドミッションセンター 井上朋美)

2 『華氏 451』 フランソワ・トリュフォー監督 1966 年

(原作：レイ・ブラッドベリ「華氏 451度」『火星年代記』華氏 451度』所収 大学図・書庫 908.3/13/13)

華氏 451 度は本が発火する温度だそうです。この世界では、愚民化政策のため「考えて生きる」ことがないように本が禁止され、情報はテレビやラジオから「受ける」ことだけが許されています。消防士 (fireman) のモンターグは、本を探し焼くことが仕事です。そして彼も疑問はありませんでした。

しかしある日、一人の女性に出会ったことで、彼は疑問と興味を持ちます。問うことが、彼に本を読ませます。疑問を持たせ、別の価値観を教える、それは本が焼かれる理由そのものです。

秘密図書館が摘発され、大量の本が、連行を拒んだ所有者とともに焼かれる衝撃的なシーンはこの映画のクライマックスで、「問わない」ことが「行う」ことの象徴的な事件であり、彼が真逆の立場に身を投じるターニングポイントです。

一見すると善対悪の単純な二元構造ですが、本を守る側の頑なさも私には極端に見えて、ある意味問うことをやめているようにも思えます。私ならば中庸を守りたいと思うものの、それもどこまでが「自分の考え」なのかと思知らされます。

(学生センター学生課 湯元陽介)



文学部心理学科
佐々木 梨沙

Q. 大学図書館のココが好き！

A. 夜遅くまで開いてる！！

平日は 20 時までで試験期になると 21 時まで開室しているので試験が近付いたときに、落ちついて勉強できる環境が整っています。また就職活動本に関するコーナーもあるので空き時間によく利用しています。

経済学部経済学科
本村 悠

Q. お気に入りの過ごし方は？

A. 調べモノに集中する。

新聞を読み気になった事柄について、パソコンや豊富な参考文献を用いて自分の知識を高めている。

わたしの
本棚

友達の家へ遊びに行くと、本棚になにが並んでいるのか思わずチェックしてしまうことはありませんか？今回は図書館員の方に、ご自身の蔵書を紹介いただきました！

小さいけれど、「私」の鏡 法経図書センター 遠山有紀

現在の私の本棚は大変小ぢんまりしている。
最近は大変大学図書館でも小説が多く読めるのでできるだけ借りることにし、手元にあるのは図書館にない漫画、写真集、マニアック(?)な本、そして何度も読み返したい大切な本、である。学生時代に集めた小説類は再読したくなると実家に取りに帰っている。

とにかく棚が小さいので、実は本を前後二段にして収納し、大きな本は別の場所に。偉大なるバレリーナ、シルヴィ・ギエムの写真集は大きくて重くて、広げるのさえ大変。寺山修司原作・上村一夫劇画の『上海異人娼館』は通常の書店には置いていないのだが、青森の寺山修司記念館へ行った際に購入した。私は好きなものや興味のあるものに対しては努力やお金を惜しまない性格だと思うが、この本棚がまさにそれを表しているようだ。

今回紹介した本には、どれも強烈な女性が登場する。強く、しなやかで、時には恐ろしくもあるけれど、眩しい光を放っている。自分の本の中にこんなに「女性」が書かれたものが多かったとは、この原稿のために本棚を見直して初めて気がついた。私はこんな光の、少しでも、いつか身につけられるのだろうか。

現在のお気に入りには『エレンディア』と「サイドカーに犬」*。前者はコロンビアの作家、ガルシア・マルケスによるもので、現実と非現実の見事な混沌を感じる。後者は私の地元が舞台なので、とても懐かしい(竹内結子主演の映画もオススメです)。

*「サイドカーに犬」は長崎有「猛スピードで母は」(文春文庫、写真)所収(大学図・1F開架 Bunshun/な47/1)

世界の図書館

パスポートを持って図書館へ

上海図書館・上海科学技術情報研究所

旅行者でも証明書があれば利用カードが作れるとホームページ*1にあったので、パスポートを持って上海の公共図書館(上海図書館・上海科学技術情報研究所)へ旅行のついでに行ってきました。入口すぐのパソコンに氏名や国籍などの情報を入力した後、カウンターへ行き、料金(サービス内容によって異なります)を支払うとほんの2~3分で利用カード(写真1)ができました。みなさんもチャンスがあれば「旅先で、図書館」いかがですか？小さな発見があって面白いですよ。

(大学図書館 川中はるか)

*1 <http://www.library.sh.cn/japanese/> 日本語版が用意されています。



写真1

Information

玄関自動ドア&多目的トイレ設置!

大学図書館の玄関が自動ドアになりました。これまでは、手で押すタイプの重いドアが2枚あり入退館の際に使用しづらかったところ、自動ドア2枚になった結果、入退館がしやすくなりました。

多目的トイレは、男子トイレとして使用されてきた1階部分を改修。車イス利用等に対応可能となりました。大学図書館ではバリアフリー化へ向けて、今後も対策を講じていきます。

来ぶらり No.86 2010年10月1日発行

発行責任者: 高基利彦 編集委員: 米田有里・吉崎彩子 学習院大学図書館

1階貸出・返却カウンター ☎ 03-5992-1009 (直通) 内線 2397 2階レファレンスカウンター ☎ 03-5992-9249 (直通) 内線 2395・2396

☎ 03-3986-0221 (代表) 〒 171-8588 東京都豊島区目白 1-5-1

「来ぶらり」のバックナンバーは

(<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/glim/collection/library/raiburari.html>) で公開しています。